

はんだ山の風

今年は歴史の節目になります
新しい時代の大学病院の使命を
皆さんと共に果たしていきたいと思えます
今年もよろしくお願ひします
病院長 金山 尚裕



Contents

- | | | |
|------|----------------------|----------------|
| P.2 | 年頭のご挨拶 | 病院長 金山 尚裕 |
| P.3 | 新任教授の紹介 | 産科婦人科 教授 伊東 宏晃 |
| P.4 | 腫瘍センターだより「脳腫瘍手術の最前線」 | 脳神経外科 教授 難波 宏樹 |
| P.6 | 看護部「専門・認定看護師の活動紹介」 | 手術看護認定看護師 岡 美帆 |
| P.8 | 入院中の子どもたちの笑顔がうれしい | 小児病棟 |
| P.10 | 交通のご案内 | |



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です。

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会
〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課)
Hpアドレス／<http://www.hama-med.ac.jp/>

過去の
はんだ山の風は
こちらから



年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年も一年間よろしく申し上げます。

浜松医科大学病院のミッションは患者第一の安心・安全な医療、社会・地域医療への貢献、良質な医療人の育成、高度な医療の追求、健全な病院運営の確立であり、これらをしっかり遂行することを拝命時の挨拶として掲げました。医療安全はその中でも根幹を支えるものですが、昨年は大過なく過ぎたと思います。私は以前、医療安全担当の副病院長を担当していましたが、当時と比べて着実に医療安全に取り組む文化が職員により一層浸透していると感じています。病院経営面でもほぼ計画通りに推移いたしました。特に平成30年度において稼働額、在院日数は過去最高となる見込みです。皆様のご協力の賜物であると感謝しております。

平成31年度は、浜松医科大学専攻医プログラムの応募者が1次募集の段階で99人となり、過去最高になりました。また初期研修のマッチングも36人と、マッチング率は83%で過去最高でした。各診療科そして卒後教育センターの皆様のご努力に感謝しています。これにより来年は、例年以上に多くの若手医師が当院で研修することになり、外来や病棟が今まで以上に活気づくと思います。医療は人です。若い人が多数集いますので、当院が地域に根ざして大きく羽ばたくための起爆

病院長 金山 尚裕



剤としたいものです。指導者におかれましては、引き続きパッションを持ち、教育と診療の充実そして先進的医療の実施をお願いいたします。

医療従事者の働き方改革も喫緊の課題です。医師事務補佐員、看護助手、認定看護師の増員など進めていきます。平成31年度には看護師特定行為研修センターが新設されますので、新たな看護師教育にも注力してまいります。また、平成33年の機能強化棟の完成に向けて様々な準備が来年度より本格化いたします。機能強化棟は手術室の増設、放射線治療室や外来化学療法センターの充実、周産母子センターの機能強化等を目的としています。機能強化棟の新築に伴い、敷地の確保のため多目的ホールの移設が始まりますが、現在1階建ての多目的ホールを2階建てにして、新たにスペースを確保することになりました。診療や卒後研修の活性化に伴い、各種研修スペースが不足しています。整備される多目的ホールの2階を有効利用し業務環境改善につなげたいと考えています。

天皇陛下の退位と皇太子さまの即位で2019年5月から新元号が施行されます。歴史の節目になります。新しい時代の幕開けに立ち会うことに身を引き締め、新しい時代に希望を持って踏み出して行きましょう。



はんだやまの風を慈しみ10年を経て

産科婦人科 教授 伊東 宏晃



本年11月1日付で産婦人科教授を拝命致しました。私は、金山尚裕前教授（現病院長）先生から、声を掛けていただき平成20年より周産母子センターに勤務して参りました。関西より浜松の地に移った歳、ここちよい風、風通しの良さを感じたことを鮮明に覚えております。故寺尾俊彦先生始め産婦人科同門の先輩の方々、産婦人科スタッフの皆様、元気のよい若手医師の皆様から実に暖かく迎えていただきました。周産母子センターは、様々な診療科の皆様との連携無くして成り立たない診療科であります。ハイリスク新生児や母体救命の為には、実に多種多様な診療科の皆様のお支援を頂くことが必須ではありますが、浜松医科大学では極めて円滑にこのような共同診療を行うことが可能であることに驚きました。毎週行っております周産期カンファレンスでは、産婦人科医師、新生児科医師に加えて、麻酔科医師、病棟薬剤師、助産師、看護師などの多職種の皆様が毎回参加して下さっています。新生児科、麻酔科、手術部、母子産科病棟、NICUの皆様と産婦人科が力を合わせて、超緊急帝王切開（グレードA帝王切開）のシミュレーションを定期的に行っております。現在、グレードA帝王切開への取り組みを進展させ救急部の皆様などに参加して頂き死戦期帝王切開に備えたワーキングに取り組んでおります。浜松の地で巡り会いました多くの方々と結びつけていただきました風通しの良い気風、「はんだやまの風」でしょうか、に心から感謝してお

り、浜松医科大学にお世話になり本当に良かったと思います。

これまで前教授金山先生の長年にわたるご尽力により産婦人科には地方の国立大学として上位の数の後期研修医の皆様が毎年入局して下さってきました。しかし、ながら人口360万人を越す静岡県におけます産婦人科の医師の需要は膨大で有り、とりわけ県東部地区では深刻な産婦人科医師不足を恒常的に来しております。できる限り多くの医学生や初経研修医の皆様、静岡県で産婦人科医師として働く喜び、生き甲斐を伝えていくこと、さらに産婦人科を選んで下さった若手医師の育成に全力を注ぐことを決意致しております。浜松の地で皆様から賜りました数々の御恩を、次世代の育成という形で恩返しして参りたいと存じます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。





頭蓋骨の内側にできる腫瘍を一般的に「脳腫瘍」と呼びます。その頻度は10万人に10～15人といわれ、肺がんや胃がんと比較すると比較的稀な疾患です。頭蓋内には脳細胞だけでなく脳を包む膜や血管、さらに脳下垂体なども存在しますが、これらから発生する腫瘍も含まれます。実はこのような「頭蓋内だが脳実質外の腫瘍」の方が多く、脳を包む膜からできる腫瘍である髄膜腫（24%）、抹消神経の鞘から発生する神経鞘腫（10%）、そして下垂体腺腫（21%）などを合わせると脳腫瘍全体の60-70%にのぼります。これらの腫瘍は基本的に良性腫瘍ですが、頭蓋骨という固い入れ物の中にあるので、増大すると周囲の脳を圧迫し、頭痛や麻痺などの症状を生じます。脳とは異なった組織なので境界は明瞭で、腫瘍のみを摘出することにより完治しうる疾患です。しかしながら脳は体の運動や感覚を司る重要臓器ですので、良性腫瘍とはいえ、できる場所によっては全摘出困難なことも稀ではありません。特に頭蓋底と呼ばれる脳の底面にできる腫瘍は、脳と骨の狭い隙間から神経を損傷しないように摘出しなければならないため、脳腫瘍手術の中で最も高い技術を必要とします。当科では十分に頭蓋底の骨を削除し、脳に余計な圧迫を加えずに腫瘍への到達路

を作り、また様々な脳機能のモニタリングを行いながら摘出を行っています。良性腫瘍ですので、新たな神経障害を起こすことは避けなければなりませんので、神経障害が懸念される際は無理をせず、あえて一部腫瘍を残すことも考慮します。

一方、「真の脳腫瘍」ともいえる「脳実質内の腫瘍」の代表が神経膠腫（グリオーマ）で、脳腫瘍全体の約1/4を占めます。脳細胞には主役である神経細胞（ニューロン）と、その機能を補助する神経膠細胞（グリア）があります。ニューロンはほとんど腫瘍化することはありませんが、グリア

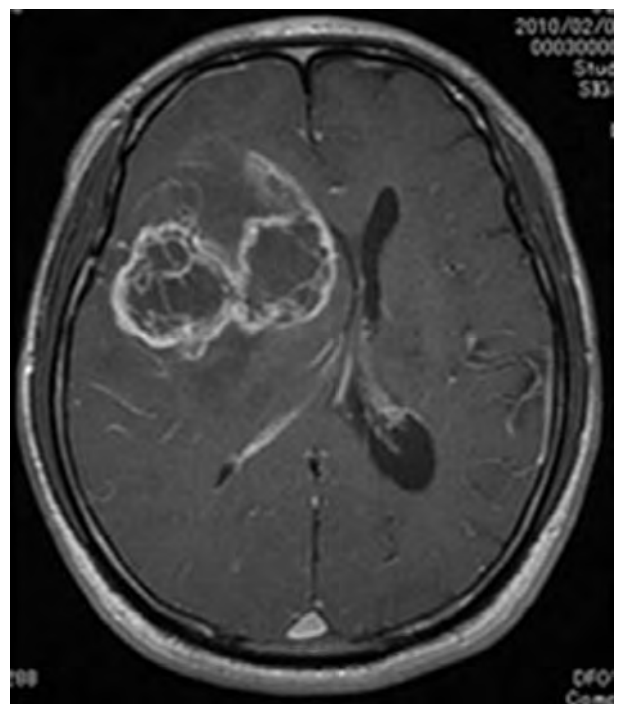


図1 膠芽腫のMRI画像。
不規則に造影される腫瘍が脳内に浸潤性に広がっている。



図2 ニューロナビゲーター(右の挿入図)を用いて腫瘍の局在を調べているところ。摘出術中も随時チェックすることができ、摘出度がわかる。

は腫瘍化し、これがグリオーマです。脳組織そのものが腫瘍化するので、正常脳との間に明確な境界がないことが特徴です。悪性のものも多く、脳の中を広範に浸潤性に発育します。他の癌腫のように脳の外に転移することは極めてまれですが、脳機能を考慮すると十分な切除ができないこともあります。悪性が疑われるときは、標準治療として、手術後に放射線治療とテモゾロミドと呼ばれる抗がん剤を併用しますが、膠芽腫（最も悪性のグリオーマ、図1）では、あらゆる治療を駆使しても2年生存することが困難です。近年、悪性グリオーマで全摘出が困難な場合でも、摘出率に応じて予後が改善することが示され、神経モニタリング

等で機能温存をはかりつつ、可及的に腫瘍を摘出する努力が行われています。私たちも、ニューロナビゲーター・システム（図2）を用いて腫瘍部位を術中に同定し、運動機能などをモニタリングしながら切除を進めています。言語機能に関しては麻酔下ではモニタリングができないので、術中に麻酔をさまして、言語機能をモニターしながら手術を行う「覚醒下手術」を積極的に行っています。覚醒下手術には麻酔科や言語療法の先生、そして手術室スタッフの協力が必須ですが、最も重要なことは、患者さんがそのメリットをよく理解して手術に臨むことです。

看護部主催講演会

「健康寿命を延ばそう 教えて!! 認知症の事」を開催して

手術看護認定看護師 岡 美帆



私たち専門・認定看護師は、2016年から地域住民の健康寿命の延伸を目的に、地域貢献活動を開始しました。本年度は、超高齢者社会を迎え「認知症」をテーマに健康教室を計画しました。（第33号の裏表紙でも紹介）

穏やかな小春日和が続いた12月1日の土曜日にアクトシティー・コングレンスセンター43・44会議室で「健康寿命を延ばそう 教えて！認知症の事」を開催しました。ご友人同士やご夫婦、また親子での参加もあり、127名の市民のみなさんと出会うことができました。女性の参加者が88名（75%）で、61歳以上の方が、96名（81%）で多

くを占めましたが、40歳～60歳の方も20名（17%）を数え、高齢者だけでなく家族にとっても非常に関心が高いテーマであったことがわかりました。内容は、第1群：栄養部副部長の渡邊潤先生「認知症になりにくい食生活」第2群：内科学第一講座教授の宮嶋裕明先生「認知症を正しく知りましょう」第3群：認知症看護認定看護師の池本理恵さん「認知症になりにくい生活習慣と頭の体操」で講師の方には、丁寧でわかりやすい講演をしていただきました。参加者の方からは「具体的な話題



宮嶋先生の講義に参加者の方は、興味深く聞きっていました

で、認知症のことを身近に感じることができた」「自分になったらどうしようと不安を感じていたが、なるべく外に出て人と接触し、楽しい毎日を過ごすことが大切だと思った」などの感想をいただき、みなさんが、認知症を正しく理解することで生活習慣を見直すきっかけになったのではと考えます。私たちも真剣にメモを取りながら考えて、時に笑いながら頭と体を動かして充実した時間を市民のみなさんと過ごすことができました。

静岡県は、全国トップクラスの健康寿命県であり、男女計の平均は、73.82歳です。健康寿命とは、平均寿命のうち、健康で活動的に暮らせる期



認知症看護認定看護師の池本理恵さん

間のことですが、高齢者の増加と要介護者は比例し、平均寿命と健康寿命の差は約10年あります。記憶機能低下から認知症と診断されるまでには、通常5～10年かかるといわれています。誰もが、住み慣れた地域で暮らし続け、自分らしく生きていく社会をめざして、今後も地域貢献活動を継続していきたいと思いを新たにしました。



研修企画担当者、皆でグーパー入れ替え体操



入院中の子どもたちの 笑顔がうれしい

小児病棟



日々治療を頑張っている子どもたちにとって、季節のイベントはとても大切に貴重な時間です。小児病棟では、年間を通して子どもたちがわく

わくできる時間を計画し、医療者全員で子どもたちが充実した時間を送れるように応援しています。今回は、その一部を紹介します。



10月 ハロウィンパーティ



「ハッピーハロウィン！」今年もこの時期がやってきました。

子どもたちは思い思いの仮装をして、病院長室

にやってきます。魔法使いの病院長、マリオの病院次長、魔女の看護部長からプレゼントをいただき、笑顔いっぱいでした。



ハッピーハロウィン！小児病棟の子どもたちは大喜びでした



浜松医科大学医学部附属病院の
かわいいお化け大集合！



11月 クリニークラウン来院



クリニークラウンは、病院を意味するクリニックと道化師のクラウンを合わせた言葉です。入院しているこどもたちとの遊びや会話を通して、こ

どもたちの成長をサポートし、笑顔を育む道化師のこことです。

シャンシャンシャンと鈴の音を鳴らしながら、“こんにちは”とあいさつをして赤いお鼻の2人のクラウンが入院中のこどもたちを訪問しました。

クラウンが自己紹介をしながら、バッグの中から取り出したのはお皿とペン。何が始まるかと、最初は恥ずかしそうに顔を隠していたこどもたちは、興味深そうにクラウンの一挙一動を見つめます。クラウンが皿回しをはじめました。こどもたちの表情がちょっと変わります。クラウン



ダンスをしながら、こどもたちにあいさつ

は、子どもたちにも皿回しに参加するように声をかけます。「えーっ」と声を出す子どもたちですが、ペンを渡され、お皿を回すことができると、笑顔が広がります。さらに、お父さん、お母さんにも皿回しリレーをすすめます。気が付けば、病室のみんなが輪になって、いっしょに楽しんで笑顔になっていました。

クラウンの訪問時間はそれぞれ10分にも満たない時間ですが、長い入院生活を送っている子どもたちが皿回しや歌やダンスなどを経験したことで少し自信をつけ、誇らしげな表情や笑顔をみせ

た瞬間にその場にいた私達もうれしくなりました。クラウンさん、笑顔をありがとうございました。



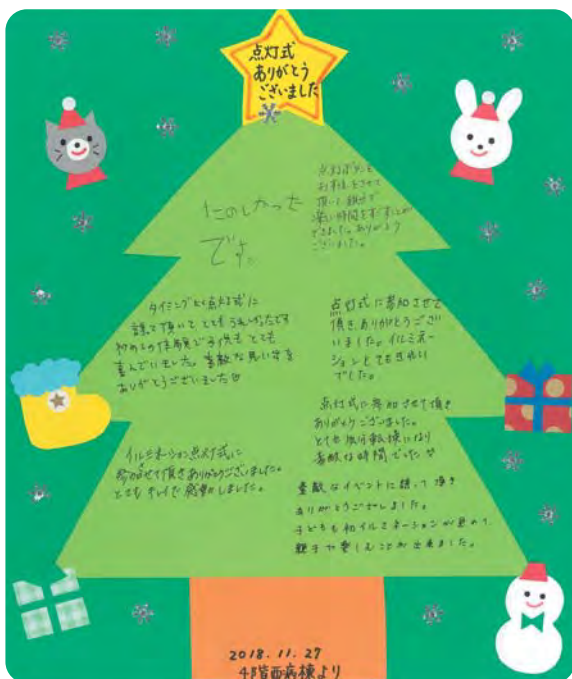
皿まわしをバトンリレー。ドキドキです

12月 クリスマスイルミネーション点灯式

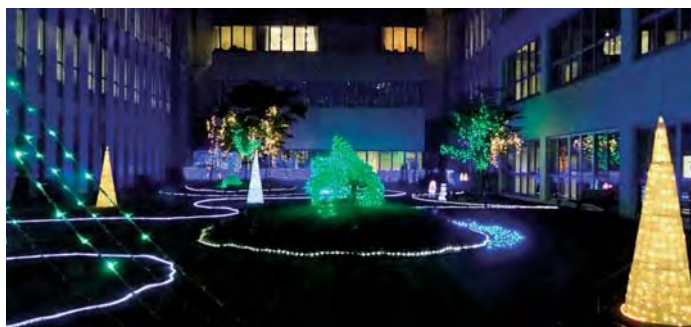
小児科教授の緒方先生サンタさんと鈴木看護部長サンタさんからの「参加者みんなでカウントダウンしましょう」の掛け声ではじまったイルミネーション点灯式。「3, 2, 1、スイッチオン!」 いっせいに輝きはじめた中庭の様子に、「わーっ、きれい。」と子どもたちからも歓声があがりました。イルミネーションのようなやさしい夢をみられますように。



子どもたちから頂いたメッセージカードです。
ありがとうございます。



点灯式に参加させていただき
ありがとうございました。
イルミネーション
とてもきれいでした。

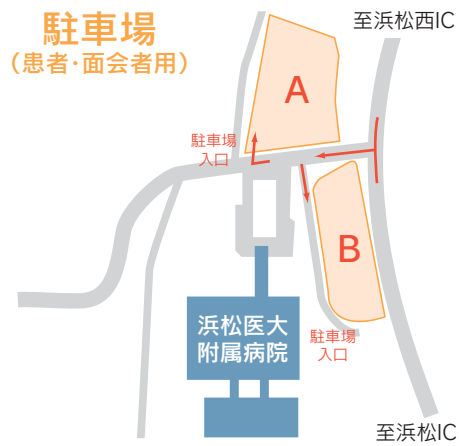
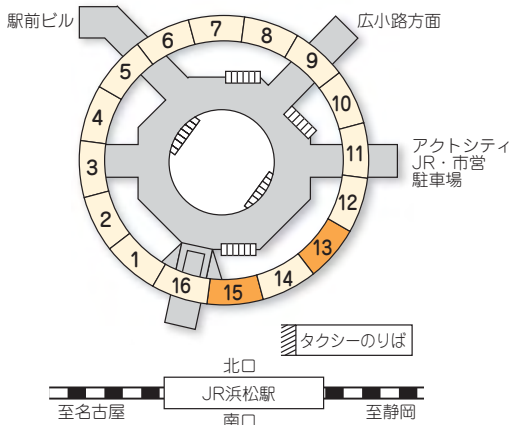


準備にご協力いただいた皆様、いつもありがとうございます

交通のご案内



浜松駅北口バス タクシーターミナル図



1. ご来院の際は上記駐車場をご利用ください。
2. 入院患者さんの自家用車での来院をご遠慮ください。
3. 入院患者さんでやむを得ず自家用車で来院し入院された方は、一般利用の方と同様に駐車料金が必要となりますので、ご了承ください。

外来患者の方 付添いの方	最初の 30分まで 無料	1回/100円 (駐車後24時間)
お見舞いの方 一般利用の方		60分/200円 最大料金 駐車後24時間 600円

※平成30年4月1日(日)よりタイムズ24株式会社が
駐車場の管理運営を行います。

	バスのりば	路線名称等	時間
遠鉄バス	13番ポール 路線番号 57	医大じゅんかん (市役所、中央署経由)	約30分
	13番ポール 路線番号 60	山の手医大線 医大行き	約35分
	15番ポール 路線番号 47	医大じゅんかん (葵町まわり)	約40分

※各路線とも医科大学下車

外来診療日一覽

2019.2.1現在

受付時間 午前 8時30分～11時 一般外来・専門外来
午後 0時30分～2時 専門外来

○：午前

◆：予約のみ

休診日 土曜日および日曜日、祝日法による休日、12月29日～翌年1月3日

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
内科 受付電話 435-2632											
一般内科	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
第一内科	消化器内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	腎臓内科	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午後のみ
	神経内科	◆	◆	◆			◆	◆	◆		水曜日：午前のみ
	感染症専門外来			◆					◆		午後のみ
第二内科	肝臓内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	呼吸器内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	禁煙外来	◆					◆				
第三内科	内分泌・代謝内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	血液内科	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	木曜日：午前のみ
	免疫・リウマチ内科	◆		◆	◆	◆		◆	◆	◆	
臨床薬理内科	◆			◆	◆	◆		◆	◆	◆	要問い合わせ
循環器内科	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	火曜日：午後のみ
ペースメーカー外来											予約のみ、要問い合わせ
ピロリ菌外来	◆										午後のみ
精神科神経科 受付電話 435-2635 ※平成28年5月から、初診完全予約制を実施しています。											
専門外来	初診・再診		◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	
	児童思春期外来						◆				
	成人発達障害外来			◆					◆		
	摂食障害専門外来								◆	◆	
	デイケア							◆	◆	◆	◆
小児科 受付電話 435-2638											
専門外来	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	内分泌・遺伝		◆					◆			
	内分泌		◆					◆			
	心臓				◆	◆				◆	◆
	血液				※	※				◆	◆
	免疫・アレルギー	◆			◆	◆	◆			◆	◆
	神経	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	腎臓				◆					◆	
	新生児フォローアップ						◆	◆			◆
	乳児検診	◆					◆				
CCS外来									◆	第4週のみ	
小児外科 受付電話 435-2638											
	初診・再診		◆		◆		◆	◆		◆	
外科 受付電話 435-2641											
第一外科	呼吸器外科			◆					◆		◆
	一般外科（内視鏡）	○		○		○	○		○		○
	乳腺外科	◆	◆			◆	◆	◆		◆	◆
心臓血管外科	○		○					○		◆	
外科 受付電話 435-2642											
第二外科	上部消化管外科			◆					◆	◆	
	下部消化管外科	◆					◆			◆	木曜日：午前のみ
	肝・胆・膵外科				◆	◆			◆	◆	
	血管外科		◆		◆			◆			木曜日：午前のみ（下肢静脈瘤）
緩和ケア外来		◆			◆		◆			◆	
脳神経外科 受付電話 435-2644											
	初診・再診	◆	◆		◆	◆		◆		◆	
整形外科 受付電話 435-2647											
専門外来	初診・再診	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆
	教授外来（脊椎）	◆			◆		◆			◆	
	骨粗鬆症				◆					◆	
	リウマチ			◆	◆				◆	◆	
	手・末梢神経			◆					◆		
	脊椎	◆					◆				
	腫瘍			◆					◆		
	股関節					◆					◆
	肩関節					◆					◆
	膝関節・スポーツ					◆					◆
	小児整形	◆					◆				
	ヘルニア							◆			

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
皮膚科 受付電話 435-2650												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	アトピー外来	◆		◆			◆		◆			
	光線過敏症外来		◆					◆				
	脱毛症外来	◆		◆			◆		◆			
	乾癬外来		◆					◆				
	皮膚リンフォーマ外来				◆					◆		
泌尿器科 受付電話 435-2653												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆			◆	◆	◆		
専門外来	腎移植外来				◆					◆		医師交代制
	排尿障害外来		◆					◆				
	不妊症外来		◆					◆			◆	第1、3、4、5週のみ
	腫瘍外来		◆	◆	◆			◆	◆	◆		
眼 科 受付電話 435-2656												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	火・金曜日：午前のみ
専門外来	網膜変性外来		◆					◆				
	斜視・弱視外来								◆			
	ロービジョン										◆	
	角膜外来									◆		第2週のみ（月により変更あり）
耳鼻咽喉科 受付電話 435-2659												
	初診・再診	◆	◆		◆	◆	◆	◆		◆	◆	
専門外来	腫瘍外来	◆					◆					
	耳外来				◆					◆		
	めまい外来			◆								
	耳鳴外来		◆					◆				
	難聴外来・人工内耳外来		◆					◆				
	睡眠時無呼吸・いびき外来					◆					◆	
	顔面神経外来					◆					◆	
	鼻副鼻腔・アレルギー外来				◆					◆		
産科婦人科 受付電話 435-2662 ※女性医師ご希望の方はお申し出ください												
	産科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	里帰り分娩等の方は、妊娠20週までに一度受診していただき、分娩予約をお願いします
	婦人科 初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	婦人科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	産科外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	腹腔鏡外来				◆					◆		
	母親学級							◆				第2週・第4週
	漢方外来		◆					◆				第1、2、4週のみ
A R T 室 受付電話 435-2664												
	不妊外来						◆	◆		◆	◆	
放射線科 受付電話 435-2665												
	放射線治療科 放射線治療外来	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	放射線診断科 IVR外来		◆					◆				
麻酔科蘇生科 受付電話 435-2668												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
リハビリテーション科 受付電話 435-2747												
	初診・再診	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要問い合わせ 午前のみ
専門外来	義肢・装具外来			◆					◆			午後のみ
	嚥下外来	◆		◆			◆		◆			
	痙縮外来		◆		◆			◆		◆		
	高次脳外来	◆			◆		◆			◆		
形成外科 受付電話 435-2496												
	初診・再診	○	○	○	○		○	○	○	○		
歯科口腔外科 受付電話 435-2673												
	初診・再診	◆	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆	
専門外来	唇顎口蓋裂外来			◆					◆			専門外来の診察日は不定期のため、歯科口腔外科外来受付電話にお問い合わせください
	顎補綴			◆					◆			
	矯正歯科					◆					◆	

※市外からお電話の場合は、電話番号の前に市外局番（053）を付けてください。